

## 1996年度事業報告

## 1. 会員数の動向 (1997年3月31日現在)

会員数合計	4,556(昨年)+45)
通常会員	4,044(+29)
一般 A	2,741(+29)
B	980(+3)
学生 A	241(+2)
B	82(-5)
特別会員	165(+18)
個人	48(+9)
団体	117(+9)
団体会員	297(-2)
団体 A	121(-4)
B	176(+2)
賛助会員	44(0)
名誉会員	6(0)

## 2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 43巻4号 - 44巻3号 12冊(868頁)  
昨年度より13ページ減。各号約4600部印刷
- (2) 気象集誌74巻2号 - 75巻1号6冊(928頁)  
昨年度より5ページ減。各号1700部印刷
- (3) 気象研究ノート
- |                                   |      |       |    |
|-----------------------------------|------|-------|----|
| 185号 「気象測器 - 地上気象観測編」             | 155頁 | 2550部 | 印刷 |
| 186号 「気象力学から気候力学」                 | 142頁 | 1850部 |    |
| 187号 「地球環境のマイクロ波放射計<br>リモートセンシング」 | 196頁 | 1850部 |    |
| 188号 「気象教育」                       | 106頁 | 1850部 |    |
- (4) 予稿集 春季大会 1400部 印刷  
秋季大会 1500部 印刷

## 3. 会議等の開催

- (1) 総会 1996年 5月22日 大宮  
出席者：234名、委任状：764名  
計：998名
- 7 1995年度事業報告・決算報告、  
1996年度事業計画・予算が承認された。
- 4 第29期日本気象学会役員選任が承認された。
- (2) 理事会
- |                   |             |    |
|-------------------|-------------|----|
| 第28期(第5回)         | 1996年 5月21日 | 大宮 |
| 第28期・第29期理事監事合同会議 | 1996年6月17日  | 東京 |
| 第29期(第1回)         | 1996年6月17日  | 東京 |
| 第29期(第2回)         | 1996年11月6日  | 東京 |

## (3) 常任理事会

第28期(17回) 1回 気象学会事務局  
第29期(1-7回) 8回 気象学会事務局

## 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 1996年 5月21~23日  
会場：大宮ツナツティ  
(担当：東京大学海洋研究所)  
シンポジウム「雷雲」
- (2) 秋季大会 1996年11月6~8日  
会場：名古屋国際会議場  
(担当：中部支部)  
シンポジウム「航空機で観る大気  
- 航空機で何がわかるか -」
- (3) 研究会、月例会等
- 7 IGBP/GAIM 研究連絡会  
東京 1996年 5月20日  
滋賀大 1996年10月12日
- 4 極域研究連絡会  
大宮 1996年 5月23日  
名古屋 1996年11月 8日
- ウ 大気海洋陸面相互作用研究会  
名古屋 1996年11月9日
- エ メソ気象研究会  
東京 1996年 5月24日  
名古屋 1996年11月 5日
- オ 「日本における気象研究に関する現状と  
将来像」を検討する会  
名古屋 1996年11月 5日
- カ 第8回夏の学校  
京都 1996年 8月 3~ 5日
- キ 第40回山の気象シンポジウム  
東京 1996年 6月15日
- ク 長期予報と大気大循環  
東京 1996年 9月26日
- ケ レーダー気象  
東京 1997年 1月27日
- (4) 他学会との共催等
- 7 第33回理工学における同位元素研究発表会  
1996年 7月1~3日
- 4 第14回風工学シンポジウム  
1996年12月4~6日
- ウ 第43回風に関するシンポジウム  
1997年 1月30日

## 5. 研究業績の表彰及び研究の奨励

- (1) 研究業績の表彰
- 7 日本気象学会賞  
小寺 邦彦 気象研究所気候研究部  
上田 博 北海道大学大学院  
理学研究科
- 4 藤原 賞  
光田 寧 京都大学防災研究所  
笠原 彰 国立大気科学研究所

## ウ 山本・正野論文賞

謝 尚平 北海道大学大学院  
地球環境科学研究所

## I 堀内基金奨励賞

田平 誠 愛知教育大学教育学部  
山中 康裕 東京大学気候システム  
研究センター

## (2) 奨励金受領者

四宮 茂晴 函館海洋气象台  
大鹿 清司 埼玉県大宮市立宮原学校

## 6. 支部活動

## (1) 北海道支部

7 研究発表会 (札幌) 1996年 6月 7日  
(札幌) 1996年11月14日  
4 講演会 (札幌) 1996年 6月19日  
(滝川) 1996年10月18日  
(札幌) 1997年 2月21日

## (2) 東北支部

7 支部講演会 (仙台) 1996年11月26日  
4 地方講演会 (青森) 1996年10月22日

## (3) 中部支部

7 総会 (名古屋) 1996年 9月26日

## (4) 関西支部

7 総会・年会 (高知) 1996年11月16日  
4 例会 (広島) 1996年11月20日  
(京都) 1996年11月21日  
(神戸) 1997年 2月 7日

## (5) 九州支部

7 支部講演会 (福岡) 1997年 2月 6日

## (6) 沖縄支部

7 防災気象講 (那覇) 1996年10月 4日  
4 気象研究会 (那覇) 1996年10月29・30日

## 7. 普及活動

## (1) 第30回夏季大学

1996年7月31日～8月2日  
東京大学山上会館(本郷キャンパス内)

「新しい気象学」-長期予報と地球規模の気象-

## (2) 関西支部第18回夏季大学

1996年 7月25～26日 大阪市立科学館

「気象・気候の科学-見る、聞く、世界の気象-」

## (3) 北海道支部第14回夏季大学

1996年 7月31日～8月1日  
第1日目 札幌市青少年科学館  
第2日目 札幌管区气象台  
「新しい気象」

## (4) 中部支部 第3回気象講座

1996年 8月31日 名古屋

## (5) 文部省研究成果公開

促進補助金による講演会  
沖縄支部 1996年10月30日  
九州支部 1996年10月15日

## 8. 国際学術交流活動

国際学術研究集会参加補助

## 前期

1) 遠藤伸彦 (アメリカ) 第2回GEWEX国際会議  
2) 小林ちあき(アメリカ) 第11回数値予報会議  
3) 吉本直弘 (スイス) 第12回国際雲・降水会議  
4) 牛山朋来 (スイス) 同 上  
5) 勝俣昌己 (スイス) 同 上

## 後期

1) 斎藤和雄 (アメリカ) 第22回台風・熱帯気象  
カンファレンス  
2) 斎藤達也 (アメリカ) 人工衛星と学校教育  
カンファレンス

## 9. 電子情報関連

(1) ホームページに 会員広場の開設  
(2) ネット通信 (BBS) の管理運営  
(3) 学会事務局の電話回線のISDN化

## 10. 第17期日本学術会議の会員候補

田中 正之理事を推薦した

## 11. 複写に係わる総合的権利委託契約更新

契約相手 : 学協会著作権協会  
契約年月日 : 1996年4月 1日  
契約有効期間 : 2001年3月31日

## 12. その他

(1) 学会事務局 の 移転  
3月17日 881号室から836号室へ

(社団法人) 日本気象学会

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	1996年度		達成率 (B/A)	備考
			内 公益部門	収益部門		
1. 収入の部 (1)						
1. 会費収入	41,365,000	42,210,046	42,210,046		102.0%	
通常会員	31,193,000	32,044,407	32,044,407		102.7%	前年度前受会費含む
特別会員	897,000	1,082,700	1,082,700		120.7%	同上
団体会員	6,345,000	6,153,660	6,153,660		97.0%	
賛助会員	2,930,000	2,929,279	2,929,279		100.0%	
2. 基本財産運用	848,000	1,025,072	1,025,072		120.9%	
一般基金	304,000	329,652	329,652		108.4%	基金、藤原、山本・正野、堀内
国際交流基金	544,000	695,420	695,420		127.8%	
3. 事業収入	35,644,000	39,214,817	18,333,909	20,880,908	110.0%	
天気	5,256,000	5,880,086	368,476	5,511,610	111.9%	(収) 広告料、別刷代
気象集誌	6,220,000	7,703,512	5,923,250	1,780,262	123.9%	(公) 投稿料 (収) 別刷代
気象研究ノート	11,163,000	9,830,830		9,830,830	88.1%	
予稿集	5,340,000	6,038,209	5,360,209	678,000	113.1%	(収) 広告料
大会開催	2,340,000	2,641,500	2,641,500	0	112.9%	春秋大会参加費等
教育と普及	1,250,000	1,199,540	1,199,540	0	96.0%	夏季大学受講料、テキスト
書店扱	2,730,000	3,080,206		3,080,206	112.8%	
業務委託	1,245,000	2,616,184	2,616,184		210.1%	
その他事業収入	100,000	224,750	224,750	0	224.8%	刊行物の直接販売等
4. 補助金収入	4,870,000	5,060,000	5,060,000		103.9%	
科学研究費	4,870,000	5,060,000	5,060,000		103.9%	
その他	0	0	0		****	
5. 寄付金収入	0	150,000	150,000		****	
寄付金	0	150,000	150,000		****	
募金	0	0	0		****	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0		****	
一般基金	0	0	0		****	
国際交流基金	0	0	0		****	

収支計算書

勘定科目	1996年度			1996年度		達成率 (B/A)	差異 (B-A)	備考
	予算額 (A)	決算額 (B)	内 公益部門	収益部門				
				内 公益部門	収益部門			
1. 収入の部 (2)								
7. 引当金取崩収入	0	0	0	0	0	****	0	
退職金引当金	0	0	0	0	0	****	0	
8. 雑収入	361,000	1,377,654	1,097,611	280,043	280,043	381.6%	1,016,654	
受取利息	151,000	148,782	148,782			98.5%	△2,218	
著作権複写許可料	0	807,422	807,422			****	807,422	
印税	210,000	280,043		280,043	280,043	133.4%	70,043	
その他雑収入	0	141,407	141,407	0	0	****	141,407	誤納入金等
当期 (純) 収入合計	83,088,000	89,037,589	67,876,638	21,160,951	21,160,951	107.2%	5,949,589	
前期繰越収支差額	2,733,103	2,733,103	1,192,768	1,540,335	1,540,335	100.0%	0	
(純) 収入合計	85,821,103	91,770,692	69,069,406	22,701,286	22,701,286	106.9%	5,949,589	
収益から公益へ寄付		2,000,000	2,000,000			****	2,000,000	
当期収入合計		91,037,589	69,876,638	21,160,951	21,160,951			
収入合計		93,770,692	71,069,406	22,701,286	22,701,286			

勘定科目	1996年度			1996年度		達成率 (B/A)	差異 (B-A)	備考
	予算額 (A)	決算額 (B)	内 公益部門	収益部門				
				内 公益部門	収益部門			
2. 支出の部 (1)								
1. 事業費	58,312,000	56,254,158	44,823,094	11,431,064	11,431,064	96.5%	△2,057,842	
天気	26,311,000	27,219,107	23,433,329	3,785,778	3,785,778	103.5%	908,107	(収) 広告、別刷経費
印刷製本費	20241000	21,152,146	17,443,118	3,709,028	3,709,028	104.5%	911,146	
編集委員会費	1200000	1,200,000	1,200,000			100.0%	0	
通信運搬費	4870000	4,866,961	4,790,211	76,750	76,750	99.9%	△3,039	
気象雑誌	11,225,000	11,382,005	10,374,664	1,007,341	1,007,341	101.4%	157,005	(収) 別刷経費
印刷製本費	7,756,000	7,853,026	6,974,727	878,299	878,299	101.3%	97,026	
編集委員会費	1,289,000	1,289,000	1,289,000			100.0%	0	
校正料	500,000	657,315	657,315			131.5%	157,315	
通信運搬費	1,680,000	1,582,664	1,453,622	129,042	129,042	94.2%	△97,336	

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	1996年度		達成率 (B/A)	備考	
			1996年4月1日～	1997年3月31日			
2. 支出の部 (2)	(円)	(円)	公益部門	収益部門	差異 (B-A)		
気象研究ノート	10,272,000	6,579,592		6,579,592	△3,692,408	64.1%	
印刷製本費	6,999,000	4,274,550		4,274,550	△2,724,450	61.1%	184号
編集委員会費	603,000	743,080		743,080	140,080	123.2%	
原稿料	1,320,000	718,673		718,673	△601,327	54.4%	
通信運搬費	1,350,000	843,289		843,289	△506,711	62.5%	
予集	2,152,000	2,142,672	2,084,319	58,353	△9,328	99.6%	(収) 広告経費
印刷製本費	1,446,000	1,403,117	1,344,764	58,353	△42,883	97.0%	
通信運搬費	706,000	739,555	739,555		33,555	104.8%	
大会開催	3,502,000	4,582,844	4,582,844		1,080,844	130.9%	会場費、運営費
春秋大会	3,200,000	4,241,180	4,241,180		1,041,180	132.5%	
その他合	152,000	118,814	118,814		△33,186	78.2%	
講演企画委	150,000	222,850	222,850		72,850	148.6%	
教育と普及	1,405,000	1,409,140	1,409,140		4,140	100.3%	
委員会	150,000	150,000	150,000		0	100.0%	
夏季大学開催	405,000	378,140	378,140		△26,860	93.4%	
支部夏季大学補助	250,000	250,000	250,000		0	100.0%	
夏季大学テキスト	600,000	631,000	631,000		31,000	105.2%	
表彰・奨励	1,575,000	1,576,058	1,576,058		1,058	100.1%	各賞5名、奨励金4名
賞金	910,000	840,000	840,000		△70,000	92.3%	
委員会	165,000	223,961	223,961		58,961	135.7%	
雑費	500,000	512,097	512,097		12,097	102.4%	
国際学術交流	1,620,000	1,312,740	1,312,740		△307,260	81.0%	「賞金」受賞者旅費を含む
参加旅費補助	1,100,000	1,000,000	1,000,000		△100,000	90.9%	
交流事業	500,000	300,000	300,000		△200,000	60.0%	
委員会費	20,000	12,740	12,740		△7,260	63.7%	
研究連絡会	250,000	50,000	50,000		△200,000	20.0%	
受託業務費	0	0	0		0	****	
その他事業費	0	0	0	0	0	****	

収支計算書

(社団法人) 日本気象学会

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		訳	差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門				
2. 支出の部 (3)								
2. 管理費	24,703,000	24,551,075	18,445,370	6,105,705		△151,925	99.4%	
人件費	14,568,000	14,521,620	10,891,214	3,630,406		△46,380	99.7%	
職員給料	12,200,000	12,020,954	9,015,715	3,005,239		△179,046	98.5%	常勤職員3名
福利厚生費	870,000	1,018,786	764,089	254,697		148,786	117.1%	
臨時雇用賃金	1,498,000	1,481,880	1,111,410	370,470		△16,120	98.9%	天気書記
退職金	0	0	0			0	****	
事務局関連経費	6,035,000	6,083,735	4,562,797	1,520,938		48,735	100.8%	
貸借料	1,533,000	1,542,569	1,156,926	385,643		9,569	100.6%	
光熱水量	184,000	142,641	106,980	35,661		△41,359	77.5%	
消耗品	850,000	818,329	613,746	204,583		△31,671	96.3%	
什器備品	200,000	0	0	0		△200,000	0.0%	パソコン1台
借料	218,000	217,536	163,152	54,384		△464	99.8%	
通信運搬費	1,130,000	1,168,969	876,726	292,243		38,969	103.4%	電話料を含む
印刷製本費	820,000	911,035	683,276	227,759		91,035	111.1%	
旅費交通費	10,000	6,240	4,680	1,560		△3,760	62.4%	
会議費	10,000	9,900	7,425	2,475		△100	99.0%	
交際費	60,000	0	0	0		△60,000	0.0%	
手数料	300,000	313,807	235,355	78,452		13,807	104.6%	振込、会費のクレジット利用等
事務委託費	300,000	303,609	227,706	75,903		3,609	101.2%	会費請求書作成等
諸会費・謝金	350,000	319,500	239,625	79,875		△30,500	91.3%	会計士謝金、労働保険協会等
その他	70,000	329,600	247,200	82,400		259,600	470.9%	

(社団法人) 日本気象学会

会計報告書表

収 支 計 算 書

勘 定 科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	内		訳		差 異 (B-A)	達 成 率 (B/A)	備 考
			公 益 部 門		収 益 部 門				
2. 支出の部 (4)									
パソコン通信	62,000	96,668	72,501	24,167	34,668	155.9%			
電算機開発管理	250,000	21,040	15,780	5,260	△228,960	8.4%			
総会・役員会	1,238,000	1,214,281	910,710	303,571	△23,719	98.1%			
選挙費用	0	0	0	0	0	****			
支那交付金	2,520,000	2,485,450	1,864,087	621,363	△34,550	98.6%			
租税公課	30,000	16,960	16,960	0	△13,040	56.5%			
その他管理費	0	111,321	111,321	0	111,321	****			過剰納金返却
3. 基本財産繰入	0	150,000	150,000		150,000	****			
一般基金	0	0	0		0	****			
国際交流基金	0	150,000	150,000		150,000	****			
4. 引当金繰入	611,000	615,592	615,592		4,592	100.8%			
退職金引当金	611,000	615,592	615,592		4,592	100.8%			
5. 予備費	1,000,000	0	0		△1,000,000	0.0%			
当期 (純) 支出合計	84,626,000	81,570,825	64,034,056	17,536,769	△3,055,175	96.4%			
当期 (純) 収支差額	1,383,430	7,466,764	3,842,582	3,624,182	6,083,334	539.7%			
税引前次期繰越収支差額	2,956,084	10,199,867	5,035,350	5,164,517	7,243,783	345.0%			
法人税等引当金繰入		1,011,000		1,011,000	1,011,000	****			
収益から公益へ寄付		2,000,000		2,000,000	2,000,000	****			
税引後当期支出合計		84,581,825	64,034,056	20,547,769					
次期繰越収支差額		9,188,867	7,035,350	2,153,517					

## 損益計算書

1996年度 1996年4月1日～ 1997年 3月31日

	1996年度	1996年4月1日～	1997年
	損失の部 (円)	利益の部 (円)	
事業支出	11,431,064	事業収入	12,911,036
印刷製本費	8,920,230	気象研究ノート収入	9,830,830
原稿料	718,673	書店採収入	3,080,206
編集費	743,080		
通信運搬費	1,049,081		
運営基本支出	6,105,705	その他の収入	8,249,915
職員給料	3,005,239	受取利息収入	0
福利厚生費	254,697	別刷収入	2,755,622
臨時雇用賃金	370,470	広告料収入	5,214,250
事務局関連経費	1,520,938	印税収入	280,043
パソコン通信	24,167		
電算機開発管理	5,260		
総会・役員会	303,571		
選挙費用	0		
支那交付金	621,363		
租税公課	0		
什器備品償却費	0		
その他	0		
期首棚卸	1,986,467	期末棚卸	1,969,180
費用合計	19,523,236	収入合計	23,130,131
当期税引前利益	3,606,895		
法人税等引当金繰出	1,011,000		
公益事業に寄付	2,000,000		
前期繰越金	3,526,802		
当期繰越金	4,122,697		

(繰越金には棚卸資産が含まれる)



## 貸借対照表

1996年度

1997年

3月31日

勘定科目	合計	訳	
		公益部門	収益部門
I 資産の部	102,287,104	96,737,625	5,549,479
1. 流動資産	45,079,820	39,968,023	5,111,797
現金	69,558	44,890	24,668
普通預金	14,120,466	11,002,517	3,117,949
郵便振替貯金	487,319	487,319	0
公社債信託	26,719,697	26,719,697	0
(小計)	(41,397,040)	(38,254,423)	(3,142,617)
棚卸資産	3,682,780	1,713,600	1,969,180
2. 固定資産	57,207,284	56,769,602	437,682
(1) 基本財産	53,972,955	53,972,955	
貸付信託	22,362,955	22,362,955	
公社債信託	31,610,000	31,610,000	
(2) その他	3,234,329	2,796,647	437,682
金銭信託(退職引当)	1,797,672	1,797,672	
什器備品	1,436,657	998,975	437,682
II 負債の部	34,005,845	33,016,745	989,100
(負債合計)	32,208,173	31,219,073	989,100
1. 流動負債	30,469,795	30,469,795	
前受会費	749,278	749,278	
預り金	989,100		989,100
法人税等引当金			
2. 固定負債	1,797,672	1,797,672	
退職金引当金	1,797,672	1,797,672	
III 正味財産の部	68,281,259	63,720,880	4,560,379
(当期繰越金)	(53,972,955)	(53,972,955)	
(うち基本財産)			
負債および正味財産の合計	102,287,104	96,737,625	5,549,479

会計報告書表

(社団法人) 日本気象学会

正味財産増減計算書

1996年度

1996年4月1日～ 1997年 3月31日

	II 減少の部 (円)			I 増加の部 (円)		
	合計	公益部門	収益部門	合計	公益部門	収益部門
資産減少額	6,253,115	2,049,923	4,203,192	44,384,931	38,791,569	5,593,362
基本財産取崩	0	0		7,466,764	3,842,582	3,624,182
退職金引当金取崩	0	0		150,000	150,000	
什器備品減価償却費	538,648	321,923	216,725	615,592	615,592	0
期首棚卸額	3,714,467	1,728,000	1,986,467	0	0	0
公益事業へ寄付	2,000,000		2,000,000	3,682,780	1,713,600	1,969,180
負債増加額	32,096,387	31,085,387	1,011,000	30,469,795	30,469,795	
退職金引当金繰入	615,592	615,592		2,000,000	2,000,000	0
前受会費	30,469,795	30,469,795		0	0	0
法人税等引当金繰入	1,011,000		1,011,000			
減少額合計	38,349,502	33,135,310	5,214,192			
当期正味財産増加額	6,035,429	5,656,259	379,170	44,384,931	38,791,569	5,593,362
(うち基本財産増加額)	(150,000)	(150,000)				
前期繰越正味財産額	62,245,830	58,064,621	4,181,209			
(うち基本財産)	(53,822,955)	(53,822,955)				
期末正味財産合計額	68,281,259	63,720,880	4,560,379			
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)				

(社団法人) 日本気象学会

財産目録

1997年 3月 31日 現在

資産総額 102,287,104 円

資産総額

種類	預入先	金額 (円)	備考
<b>1. 基本財産</b>			
貸付信託	住友信託銀行 日比谷支店	11,750,000	基本金
	〃	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,600,000	藤原賞
	〃	600,000	堀内基金
公社債信託	三井信託銀行 本店	1,912,955	藤原賞
	野村証券 銀座支店	25,960,000	国際学術交流基金
	山一証券	5,650,000	堀内基金
合計		53,972,955	
<b>2. その他の固定資産</b>			
金銭信託	住友信託銀行 日比谷支店	1,797,672	退職給与引当金
什器備品		1,436,657	
合計		3,234,329	
<b>3. 流動資産</b>			
現金	手元保管	69,558	
	第一勧業銀行 大手町支店	14,120,466	
普通預金	東京銀行	0	
	中央郵便局	487,319	
郵便振替預金	野村証券 東京支店	13,359,662	
	日興証券 新丸ビル支店	13,360,035	
期末在庫高		3,682,780	
合計		45,079,820	

計算書類に対する注記

1997年3月 31日

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法... 総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却... 什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準... 退職給与引当金は、期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲... 現金預金、預り金及び前受金を含むこととしている。  
なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	69,538	44,890	24,668
普通預金	14,120,466	11,002,517	3,117,949
郵便振替貯金	487,319	487,319	0
公社債信託	26,719,697	26,719,697	0
(合計)	(41,397,040)	(38,254,423)	(3,142,617)
前受会費	30,469,795	30,469,795	
預り金	749,278	749,278	
法人税等引当金	989,100		989,100
次期繰越収支差額	9,188,867	7,035,350	2,153,517

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	150,000	0	25,960,000
堀内基金	0	0	6,250,000
合計	150,000	0	53,972,955

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	8,169,825	6,733,168	1,436,657
合計	8,169,825	6,733,168	1,436,657

(社団法人) 日本気象学会

会計報告書表

部門別収支の集計 (決算)

1996年度

1996年4月1日より  
1997年3月31日まで

公益事業部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
天気	31,690,093	23,433,329	8,256,764	8,611,733	△354,969
気象集誌	21,871,679	10,374,664	11,497,015	5,943,594	5,553,421
大会・予稿集	8,001,709	6,667,163	1,334,546	2,174,452	△839,906
教育と普及	1,199,540	1,409,140	△209,600	325,973	△535,573
表彰・奨励	329,652	1,576,058	△1,246,406	89,582	△1,335,988
国際学術交流	695,420	1,462,740	△767,320	188,979	△956,299
受託業務	2,616,184	0	2,616,184	710,944	1,905,240
その他事業	224,750	50,000	174,750	61,075	113,675
雑収入・予備費	1,247,611	0	1,247,611	339,036	908,575
退職金	0	615,592	△615,592	0	△615,592
合計	67,876,638	45,588,686	22,287,952	18,445,368	3,842,584

純収入＝各部門の公益事業分収入  
 純支出＝各部門の公益事業分支出  
 純収支差額＝純収入－純支出  
 管理費分担＝管理費の公益事業分分担  
 (純収入に比例して分担)  
 利益＝純収入－純支出－管理費分担  
 ＝純収支差額－管理費分担

収益事業部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
天気	5,511,610	3,785,778	1,725,832	1,590,300	135,532
気象集誌	1,780,262	1,007,341	772,921	513,670	259,251
気象研究ノート	9,830,830	6,579,592	3,251,238	2,836,552	414,686
予稿集	678,000	58,353	619,647	195,628	424,019
書店等・予備費	3,360,249	0	3,360,249	969,554	2,390,695
合計	21,160,951	11,431,064	9,729,887	6,105,704	3,624,183

純収入＝各部門の収益事業分収入  
 純支出＝各部門の収益事業分支出  
 純収支差額＝純収入－純支出  
 管理費分担＝管理費の収益事業分分担  
 (純収入に比例して分担)  
 利益＝純収入－純支出－管理費分担  
 ＝純収支差額－管理費分担

## 1996年度社団法人日本気象学会監査報告

1996年度社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を次のとおり報告する。

1. 監査月日  
1997年4月16日
2. 監査場所  
東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
  - (1) 1996年度会計報告書
  - (2) 総勘定元帳
  - (3) 財産目録
  - (4) 現金出納帳
  - (5) 預貯金出納帳
  - (6) 備品台帳
  - (7) 領収書類
  - (8) 預金証書および普通預金通帳
  - (9) 郵便局振替払出通帳
  - (10) 現金受領簿
  - (11) 小切手帳および小切手受払簿
  - (12) 1996年度事業報告書

## 4. 監査内容

- (1) 1996年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況について聴取し意見を述べた。

## 5. 監査意見

1996年度（1996年4月1日から1997年3月31日まで）の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

会費の納入状況は順調である。単年度収支は、公益事業はおよそ380万円、収益事業は360万円と例年に比べ大幅な黒字であった。ただし、公益事業については不定期収入である業務受託費が約260万円程含まれることを考えれば、経常部分は120万円程の黒字でしかない。最近の低金利による基金の利息収入の減少、平成9年度からの消費税の負担増を考えれば、今後も経費節減に努める

と共に、会費以外の収入増を図るべきである。

部門別収支を見ると、最も大きな事業である公益事業の「天気」は、単独では黒字であるが、管理費分担まで含めると、ここ数年赤字である。「天気」は、会員全員のための情報誌であり、多数の会員からの寄稿を促すために、原則として投稿料を徴収していない。しかし「天気」の論文には、気象学の研究を本務とする研究機関・大学の研究者の投稿が毎年10編弱、50～100頁ある。これらの論文に対しては、「気象集誌」並に投稿料を取るなどして、「天気」事業自体での収入増を図ることを検討していただきたい。

今年度も会員数が45名増えた。会員の多様化に対応するために97年春の大会で気象予報士を対象とした分科会や見学会の開催などが計画されている。また、29期の評議員は、気象学会の役割について広く社会的側面から意見を聞かせていただくために幅広い分野から人選をしている。このような取り組みが、今後も行われることを期待する。

「天気」は、「新刊図書案内」や「気象集誌の和文目次」の掲載など、会員に役立つ情報の提供に努めている。編集委員会の努力に感謝する。


「気象研究ノート」は、今年度4冊刊行された。185号「気象測器—地上気象観測篇」は700部増刷され、専門的な調査・研究のみならず日常の気象業務にも必要な気象の基礎知識に焦点を当てた好企画であった。

気象学会は早くから学会BBSを開設していたが、インターネットの普及に対応して気象学会のホームページの開設とその内容の充実にも努めている。今後、電子出版、電子図書館サービスなど、種々の情報サービスが急速に進展すると予想されるが、著作権の問題もあり、気象学会として適切に対応していただきたい。


この1年間、さまざまな課題に取り組んでこられた理事、事務局員の努力に敬意を表します。

1997年5月2日

監事

狩原 吉石 

監事

中村 

## 1997年度日本気象学会総会議案

日本気象学会第29期理事会  
1997年5月22日

◎各賞および国際交流に関する細則等の改正  
趣旨

日本気象学会が行っている日本気象学会賞をはじめとする気象学の各分野における活躍に対する顕彰あるいは支援（以下、各賞等と略す）の制度は、定款の目的と事業で位置づけられたものである。本来、定款は細則により補完され、実施細目が定められてきた。しかし、これまで実施されてきた前述の各賞あるいは国際交流は、その実施細目が各賞等の選定規定で定められており、細則では位置づけられていなかった。

このため、定款を受けて学会が行う事業を包括的に定めるべき細則に各賞の選考規定を設けることを第6章に、国際交流に関する規定を設けることを第7章に明記し、学会事業の明確化をはかる。

また、各賞の選定規定における対象件数を実状に合わせ、同時に改正する。さらに、堀内基金奨励賞については、設定当初と異なり、気象学の境界・周辺領域の研究を奨励することよりも、これら領域の研究を顕彰することの意義が重要であること、他の各賞等の名称との並びからも、名称を堀内賞と改正する。

<細則>

現行

各賞等の定めなし。

改正案

第6章 表彰および奨励

第24条 本会は学術研究および学術成果に対し次の表彰および奨励を行う。

1. 日本気象学会賞

気象学および気象技術に関し貴重な研究をなした者に対する顕彰。

2. 藤原賞

調査・研究・総合報告・著述その他の活動により、日本の気象学および気象技術の発展・向上に寄与したものに対する顕彰。

3. 山本・正野論文賞

基礎研究・応用技術開発を問わず、新進の研究者・技術者による優秀な論文に対する顕彰。

4. 堀内賞

気象学の境界領域・隣接分野あるいは未開拓分野での調査・研究・著述等により、気象学あるいは気象技術の発展・向上に大きな影響を与えたものに対する顕彰。

5. 奨励金

研究を本務としない職場において、気象学・気象技術に関する、優秀な調査・研究を行っているもの、あるいは初等・中等教育において優れた気象教育を行っているものに対する奨励。

第25条 前条に掲げる表彰および奨励の対象者を選定するため受賞候補者推薦委員会を設ける。受賞候補者推薦委員会は、担当理事を長とする。

第26条 第24条および第25条に掲げる表彰および奨励の内容は理事会が別途定める規定による。

第7章 国際学術交流

第27条 本会は、気象学における国際的な発展および交流を図るため、学術的な国際交流事業への支援を行う。

第28条 前条の事業を実施するため、国際学術交流委員会を設ける。国際学術交流委員会は、担当理事を長とする。

第29条 第27条および第28条に掲げる事業の内容は理事会が別途定める規定による。

<選定規定>

改正のある項目のみ以下に掲載する。

現行

学会賞受賞者選定規定

3. 委員会は、原則として前5か年間の気象集誌その他の学術雑誌に発表された論文を審査して、その中から気象学に関し貴重な研究をなした者、原則として1件を選び、選定理由書をつけて1月末までに理事長に報告する。

藤原賞受賞者選定規定

3. 委員会は、主に気象学に関する調査・研究・総合報告・著述等により、日本の気象学および気象技術の向上に寄与したものを、原則として1

件を選び、選定理由書をつけて1月末までに理事長に報告する。

#### 堀内基金奨励賞受賞者選定規定

1. 堀内基金奨励賞受賞者を選定するため、堀内基金奨励賞候補者推薦委員会（以下、委員会と称する）を設ける。
3. 委員会は、主に気象学の境界・周辺および未開拓の分野における調査・研究・著述等により、気象学および気象技術の向上に寄与しているものを、原則として1件選び、選定理由書をつけて6月末までに理事長に報告する。
5. 堀内基金奨励賞は賞状および副賞（賞金）とし、原則として秋季大会でこれを贈呈する。賞金は1件10万円とする。

#### 奨励金受領者選定規定

3. 委員会は、奨励金受領者の募集を行い、応募のあった申請のうちから原則として3件を選び、選定理由書をつけて6月末までに理事長に報告する。

改正案

#### 学会賞受賞者選定規定

3. 委員会は、原則として前5か年間の気象集誌その他の学術雑誌に発表された論文を審査して、その中から気象学に関し貴重な研究をなした者を、原則として2件を選び、選定理由書をつけて1月末までに理事長に報告する。

#### 藤原賞受賞者選定規定

3. 委員会は、主に気象学に関する調査・研究・総合報告・著述等により、日本の気象学および気象技術の向上に寄与したものを、原則として2件を選び、選定理由書をつけて1月末までに理事長に報告する。

#### 堀内賞受賞者選定規定

1. 堀内賞受賞者を選定するため、堀内賞候補者推薦委員会（以下、委員会と称する）を設ける。
3. 委員会は、主に気象学の境界領域・隣接分野あるいは未開拓分野における調査・研究・著述等により、気象学および気象技術の向上に寄与しているものを、原則として1件選び、選定理由書をつけて6月末までに理事長に報告する。
5. 堀内賞は賞状および副賞（賞金）とし、原則として秋季大会でこれを贈呈する。賞金は1件10万円とする。

#### 奨励金受領者選定規定

3. 委員会は、研究を本務としない職場において、気象学・気象技術に関する、優秀な調査・研究を行っているもの、あるいは初等・中等教育において優れた気象教育を行っているものに対する奨励のため、奨励金受領者の募集を行い、応募のあった申請のうちから原則として3件を選び、選定理由書をつけて6月末までに理事長に報告する。



## ◎理事の辞任に伴う追加推薦について

日本気象学会第29期の理事から理事を辞任したいとの申し出が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会として1997年5月22日付で解任することとしました。また、後任の理事候補としては、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦のあった会員を理事長から推薦することにいたしました。総会で審議していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事と、後任理事候補者は以下の通りです。(敬称略)

辞任理事：斎藤三行常任理事(全国地区選出)  
 窪田 将理事(北海道地区選出)  
 加藤一靖理事(関西地区選出)  
 高橋 劭理事(九州地区選出)  
 中山 嵩理事(九州地区選出)

## 後任理事候補者：

全国区 1名  
 候補者名：城尾 泰彦会員  
 所属等：気象庁環境気象課大気解析官  
 生年月日：1956年1月11日  
 推薦理由：  
 城尾会員は、現在観測部環境気象課に所属しているが、これまでに経験した業務から、気象庁における温室効果ガスをはじめとする各種の気象観測及びその動向について広い知識を有しており、気象学会の活動に貢献することが期待される。また、観測部予算資料の作成及び要求など財政的な面についても業務経験を有し、学会の財政的諸問題に対する適切な対応が期待される。  
 以上のことから、城尾会員を理事候補とし

て推薦する。

北海道地区 1名  
 候補者名：古川 武彦会員  
 所属等：気象庁札幌管区気象台台長  
 生年月日：1940年5月22日  
 推薦理由：  
 古川会員はこれまでに、気象研究所での研究活動の他、気象庁予報部、観測部、総務部、運輸省などで、さまざまな職務を歴任してきた。  
 古川会員を理事とすることにより、これらの職務を通じで得られた幅広い経験と視点が、学会の活動に有意義に反映されることが期待できる。

関西地区 1名  
 候補者名：高橋 昭会員  
 所属等：気象庁大阪管区気象台台長  
 生年月日：1942年12月16日  
 推薦理由：  
 高橋会員は、現在大阪管区気象台長の職にあるが、これまでに経験した業務から、気象庁における気象衛星観測、海洋観測及びそれらの動向について広い知識を有しており、気象学会の活動に貢献することが期待される。

また、気象研究所における研究に関する調査、企画立案及び総合調整についても業務経験を有し、学会が行う事業の運営に対する適切な対応が期待される。

以上のことから、高橋会員を理事候補として推薦する。

九州地区 2名  
 候補者名：宮原 三郎会員

所 属 等：九州大学理学部教授

生年月日：1947年11月10日

推薦理由：

宮原会員は、これまで中層大気領域における各種大気波動および大気大循環に関する理論的研究に従事し、大気力学の進展に大きな貢献をしている。

その業績に対しては、1985年度の気象学会賞が授与され、高い評価を受けている。一方では、九州大学理学部教授として、学生および大学院生の教育指導をおこない、後進の育成にも大きな力を発揮している。同会員は以上のような研究・教育両面における経験を基に、気象学会の活動に多大な貢献をすることが期待される。

以上の理由から、宮原会員を理事候補として推薦する。

候 補 者：由良 武会員

候補者名：気象庁福岡管区気象台台長

生年月日：1941年9月27日

推薦理由：

九州支部所属の気象学会員はその大半が気象台職員でしめられており、九州支部における学会活動を円滑に進めるためには管区台長の役職にあるものが理事を務めるのが最適であり、かつ由良会員は旧来から気象学会員であるのでその点も問題ない。

以上のことから、由良会員を理事候補として推薦する。

## 1997年度事業計画(案)

1. 機関誌等の刊行
  - (1) 天気 44巻4号-45巻3号
  - (2) 気象集誌 75巻2号-76巻1号
  - (3) 気象研究ノート 189号-193号
  - (4) 大会予稿集  
春季大会 71号 秋季大会 72号
2. 会議等の開催
 

通常総会	1997年度総会	(5月22日)
理事会	2回	(5月、10月)
常任理事会	9回	
評議員会	1回	(5月20日)
監事会	1回	(4月)
3. 各委員会等の活動
  - 天気編集委員会
  - 気象集誌編集委員会
  - 気象研究ノート編集委員会
  - 総合計画委員会
  - 講演企画委員会
  - 教育と普及委員会
  - 学会賞等候補者推薦委員会
  - 国際学術交流委員会
  - 電子情報委員会
4. 大会及び研究会等
  - (1) 春季大会 1997年 5月21~23日  
つくば市 : 筑波大学学生会館  
(担当: 筑波大学・5研究機関)  
特別招待講演 5月22日  
題名 雲過程と陸面過程  
- 21世紀への展望 -
  - (2) 秋季大会 1997年10月7~9日  
札幌市: 北海道大学  
(担当: 北海道大学)  
シンポジウム 10月8日  
題名 北極圏の大気環境と物質循環
  - (3) 研究会、月例会等
    - ・メソ気象研究会
    - ・IGBP/GAIRM研究会
    - ・極域・寒冷域研究連絡会
    - ・オゾン研究連絡会
    - ・大気海洋陸面相互作用研究会
    - ・山の気象シンポジウム
    - ・長期予報と大気大循環
    - ・レーダー気象
    - ・「日本における気象研究に関する現状と将来像」を検討する会
  - (4) 第9回気象若手会夏の学校  
仙台市 1997年7月18~20日
5. 研究業績の表彰及び研究の奨励
  - ・日本気象学会賞
  - ・藤原賞
  - ・山本・正野論文賞
  - ・堀内賞
  - ・奨励金
6. 支部活動  
各支部研究発表会及び講演会
7. 普及活動
  - (1) 夏季大学
    - 1) 第31回夏季大学  
期日: 1997年8月4~6日  
大気汚染と酸性雨
    - 2) 関西支部第19回夏季大学  
期日: 1997年7月23~24日  
天気変化の仕組みと新しい天気予報
    - 3) 北海道支部第15回夏季大学  
期日: 1997年7月30、31日  
一気象講座「新しい気象学」一
    - 4) 中部支部 第4回気象講座  
期日: 1997年 8月末頃
  - (2) 気象講演会  
沖縄支部  
1997年10月30日 那覇市  
台風と沖縄の地域経済
8. 対外活動
  - (1) IUGG開催準備
  - (2) 地球環境科学関連学会協議会設置
  - (3) 地球惑星科学関連学会合同大会
9. 国際学術交流活動  
気象学における国際的な発展及び交流を図るための、国際交流事業への支援を行う
10. 電子情報関連
  - (1) 学術情報センター電子図書館+ヒスへの加入  
一年契約で加入、会員の利用状況等の影響を考慮して 契約更新を判断する
  - (2) 学会ホームページ管理運営
11. 第30期役員選挙  
告示: 1997年12月「天気」誌上  
候補締切: 1998年 1月末  
投票: 1998年 3月上旬  
選任: 1998年 5月通常総会
12. 学会会員名簿作成準備
13. 事務局の構成  
事務局長 島津 成之  
松野 光雄  
館 英男

1997年4月1日より  
1998年3月31日まで

1997年度

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

1. 収入の部 (1)

勘定科目	96年度 予算(A)	96年度 決算	97年度 予算(B)	内		増減 (B) - (A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 会費収入	41,365,000	42,210,046	41,354,000	41,354,000	△11,000		
通常会員	31,193,000	32,044,407	31,394,000	31,394,000	201,000		
特別会員	897,000	1,082,700	1,006,000	1,006,000	109,000		
団体会員	6,345,000	6,153,660	6,024,000	6,024,000	△321,000		
賛助会員	2,930,000	2,929,279	2,930,000	2,930,000	0		
2. 基本財産運用	848,000	1,025,072	978,000	978,000	130,000		
一般基金	304,000	329,652	381,000	381,000	77,000		
国際交流基金	544,000	695,420	597,000	597,000	53,000		
3. 事業収入	35,644,000	39,214,817	35,942,000	13,144,000	22,798,000		
天気	5,256,000	5,880,086	5,520,000	0	5,520,000	広告料、別刷代	
気象集誌	6,220,000	7,703,512	6,390,000	4,620,000	1,770,000	投稿料、別刷代	
気象研究ノート	11,163,000	9,830,830	11,458,000		11,458,000	295,000 5冊 (189~193)	
予備集	5,340,000	6,038,209	5,574,000	4,874,000	700,000	234,000	
大会開催	2,340,000	2,641,500	2,420,000	2,420,000		80,000 大会参加費	
教育と普及	1,250,000	1,199,540	1,025,000	1,025,000	△225,000	夏季大学受講料とテキスト	
書店扱	2,730,000	3,080,206	3,350,000		3,350,000	620,000	
業務受託	1,245,000	2,616,184	0	0	△1,245,000		
その他事業収入	100,000	224,750	205,000	205,000	105,000	他の刊行物等	
4. 補助金収入	4,870,000	5,060,000	5,060,000	5,060,000	190,000		
科学研究費	4,870,000	5,060,000	5,060,000	5,060,000	190,000		
その他	0	0	0	0	0		
5. 寄付金収入	0	150,000	0	0	0		
寄付金	0	150,000	0	0	0		
募金	0	0	0	0	0		
6. 基本財産取崩収入	0	0	0	0	0		
一般基金	0	0	0	0	0		
国際交流基金	0	0	0	0	0		

(社団法人) 日本気象学会

## 収支予算書(案)

会計報告書表

1997年度

1997年4月1日より

1998年3月31日まで

## 1. 収入の部 (2) (円)

勘定科目	96年度 予算(A)	96年度 決算	97年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
7. 引当金取崩収入 退職金引当金	0	0	0	0	0	0	
8. 雑収入	361,000	1,377,654	343,000	293,000	50,000	△18,000	
受取利息	151,000	148,782	193,000	193,000		42,000	引当金, 運用財産
著作権複写許可料	0	807,422	100,000	100,000		100,000	
印税	210,000	280,043	50,000		50,000	△160,000	
その他	0	141,407	0	0	0	0	
当期収入合計	83,088,000	89,037,589	83,677,000	60,829,000	22,848,000	589,000	
前期繰越収支差額	2,733,103	2,733,103	9,188,867	7,035,350	2,153,517	6,455,764	
収入合計	85,821,103	91,770,692	92,865,867	67,864,350	25,001,517	7,044,764	

## 2. 支出の部 (1) (円)

勘定科目	96年度 予算(A)	96年度 決算	97年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 事業費	58,312,000	56,254,158	57,062,000	44,063,000	12,999,000	△1,250,000	
天気	26,311,000	27,219,107	26,577,000	23,117,000	3,460,000	266,000	
印刷製本費	20,241,000	21,152,146	20,503,000	17,117,000	3,386,000	262,000	
編集委員会費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		0	
通信運搬費	4,870,000	4,866,961	4,874,000	4,800,000	74,000	4,000	
気象集誌	11,225,000	11,382,005	11,061,000	9,932,000	1,129,000	△164,000	
印刷製本費	7,756,000	7,853,026	7,592,000	6,593,000	999,000	△164,000	
編集委員会費	1,289,000	1,289,000	1,289,000	1,289,000		0	
校正料	500,000	657,315	600,000	600,000		100,000	
通信運搬費	1,680,000	1,582,664	1,580,000	1,450,000	130,000	△100,000	

(社団法人) 日本気象学会

収支予算書(案)

会計報告書表

1997年度  
1997年4月1日より  
1998年3月31日まで

2. 支出の部 (2) (円)

勘定科目	96年度 予算(A)	96年度 決算	97年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
気象研究ノート	10,272,000	6,579,592	8,347,000	8,347,000	8,347,000	△1,925,000	189号から193号を発行予定
印刷製本費	6,999,000	4,274,550	5,502,000	5,502,000	5,502,000	△1,497,000	
編集委員会費	603,000	743,080	620,000	620,000	620,000	17,000	
原稿料	1,320,000	718,673	1,100,000	1,100,000	1,100,000	△220,000	
通信運搬費	1,350,000	843,289	1,125,000	1,125,000	1,125,000	△225,000	
予稿集	2,152,000	2,142,672	2,125,000	2,062,000	63,000	△27,000	
印刷製本費	1,446,000	1,403,117	1,385,000	1,322,000	63,000	△61,000	
通信運搬費	706,000	739,555	740,000	740,000	740,000	34,000	
大会開催	3,502,000	4,582,844	4,502,000	4,502,000	4,502,000	1,000,000	
春秋大会	3,200,000	4,241,180	4,000,000	4,000,000	4,000,000	800,000	本部からの補助金
その他会合	152,000	118,814	352,000	352,000	352,000	200,000	地球環境科学、アイントープ他
講演企画委	150,000	222,850	150,000	150,000	150,000	0	若手会補助を含む
教育と普及	1,405,000	1,409,140	1,305,000	1,305,000	1,305,000	△100,000	
委員会	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0	
夏季大学開催	405,000	378,140	369,000	369,000	369,000	△36,000	会場費、設営費、印刷費
支部夏季大学補助	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	0	支部開催の夏季大学を補助
夏季大学テキスト	600,000	631,000	536,000	536,000	536,000	△64,000	(北海道、関西、中部)
表彰・奨励	1,575,000	1,576,058	1,575,000	1,575,000	1,575,000	0	
賞金	910,000	840,000	910,000	910,000	910,000	0	
委員会	165,000	223,961	165,000	165,000	165,000	0	
雑費	500,000	512,097	500,000	500,000	500,000	0	受賞者旅費他
国際学術交流	1,620,000	1,312,740	1,320,000	1,320,000	1,320,000	△300,000	
参加旅費補助	1,100,000	1,000,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	0	
交流事業	500,000	300,000	200,000	200,000	200,000	△300,000	
委員会費	20,000	12,740	20,000	20,000	20,000	0	
研究連絡会	250,000	50,000	250,000	250,000	250,000	0	極域、オゾン、メソ、陸面大気海洋、GAIM
受託業務費	0	0	0	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	0	0	0	

(社団法人) 日本気象学会

会計報告書表

収支予算書(案)

1997年度 1997年4月1日より

1998年3月31日まで

2. 支出の部(3) (円)

勘定科目	96年度		97年度		増減		備考
	予算(A)	決算	予算(B)	97年度	内	(B)-(A)	
					公益部門	収益部門	
2. 管理費	24,703,000	24,551,075	26,578,000	19,766,000	6,812,000	1,875,000	25.00%
人件費	14,568,000	14,521,620	14,606,000	10,954,500	3,651,500	38,000	
職員給料	12,200,000	12,020,954	12,333,000	9,249,750	3,083,250	133,000	
福利厚生費	870,000	1,018,786	995,000	746,250	248,750	125,000	
臨時雇用賃金	1,498,000	1,481,880	1,278,000	958,500	319,500	△220,000	
退職金	0	0	0	0	0	0	
事務局関連経費	6,035,000	6,083,735	6,913,000	5,009,750	1,903,250	878,000	
賃借料	1,533,000	1,542,569	1,572,000	1,179,000	393,000	39,000	施設保守維持分担当金を含む
光熱水料	184,000	142,641	150,000	112,500	37,500	△34,000	
消耗品	850,000	818,329	850,000	637,500	212,500	0	
什器備品	200,000	0	500,000	200,000	300,000	300,000	事務器、計算機、その他
借料(レンタル料)	218,000	217,536	222,000	166,500	55,500	4,000	
通信運搬費	1,130,000	1,168,969	1,193,000	894,750	298,250	63,000	郵便、電話
印刷製本費	820,000	911,035	870,000	652,500	217,500	50,000	封筒、雑誌製本、総会資料
旅費交通費	10,000	6,240	10,000	7,500	2,500	0	
会議費	10,000	9,900	10,000	7,500	2,500	0	
雇用費・交際費	60,000	0	30,000	22,500	7,500	△30,000	
手数料	300,000	313,807	325,000	243,750	81,250	25,000	振込手数料など
事務委託費	300,000	303,609	306,000	229,500	76,500	6,000	会費請求書等作成
諸会費・謝金	350,000	319,500	325,000	243,750	81,250	△25,000	会計士、学術協力財団賛助会費等
その他	70,000	329,600	550,000	412,500	137,500	480,000	会員名簿作成準備他

会計報告書表

1997年度 1997年4月1日より  
1998年3月31日まで

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

2. 支出の部 (4) (円)

勘定科目	96年度 予算(A)	96年度 決算	97年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
パソコン通信	62,000	96,668	183,000	137,250	45,750	121,000	
電算機開発管理	250,000	21,040	250,000	187,500	62,500	0	会員データベース他
総会・役員会	1,238,000	1,214,281	1,428,000	1,071,000	357,000	190,000	
選挙費用	0	0	668,000	501,000	167,000	668,000	
支部交付金	2,520,000	2,485,450	2,500,000	1,875,000	625,000	△20,000	
租税公課	30,000	16,960	30,000	30,000	0	0	
その他	0	111,321	0	0	0	0	返却金等
3. 基本財産繰入	0	150,000	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	150,000	0	0		0	
4. 引当金繰入	611,000	615,592	623,000	623,000		12,000	
退職引当金	611,000	615,592	623,000	623,000		12,000	
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000	750,000	250,000	0	
当期支出合計	84,626,000	81,570,825	85,263,000	65,202,000	20,061,000	637,000	
当期(純)収支差額	△1,538,000	7,466,764	△1,586,000	△4,373,000	2,787,000	△48,000	
税引前次期繰越収支差額	1,195,103	10,199,867	7,602,867	2,662,350	4,940,517	6,407,764	